

令和6年第1回議会定例会

故小澤征爾氏に
永世名誉町民称号を贈呈

議会だより

YAMANOUCHI TOWN COUNCIL



毎年山ノ内中学校を訪れた小澤さん

山ノ内町を愛した小澤さん

令和6年第1回議会定例会は、2月27日から3月19日までの22日間にわたり開催されました。町側からは専決処分報告2件・承認1件、永世名誉町民の称号の贈呈1件、令和5年度一般会計ほか6本の補正予算案、条例の制定2件・一部改正17件、令和6年度各会計予算案7件、人事案5件、議会側から条例の一部改正1件が提案され、すべて原案どおり受理、承認、可決、同意しました。

また任期満了にともなう選挙管理委員(4人)および補充員(4人)の選挙が行われ、議長の指名推選により全員が当選しました。

小澤氏は、奥志賀高原を訪れた際にこの地を気に入り、1985年に別荘を建築後はたびたび当町を訪れました。1986年には当町の友人を介して「地元の中学生に是非、生のオーケストラに親しんでもらいたい」との申し出から、山ノ内中学校での第1回小澤コンサートが始まりました。小澤氏の指揮による一流音楽家の演奏と中学生の合唱という交流は毎年続き、1991年に小澤氏は町名誉町民に登録されました。

第138号
令和6年4月25日
(2024)
発行 山ノ内町議会
責任者 議長 湯本 晴彦
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101
E-mail
gikai@town.yamanouchi.lg.jp

議会ホームページは
こちらから



議会フェイスブックは
こちらから



もくじ

令和6年第1回定例会関連記事……………22
審議議案と議員の賛否……………23
一般質問……………24
陳情・発委・議会全員協議会……………31
予算審査……………32
あの意見どうなった?……………34
第17回議会報告会……………35
みんなのひろば・編集後記……………36

条例の制定

犯罪被害者等
支援条例

犯罪被害者等に支援金

また、2015年には30回目のコンサート開催を記念し、中学校に「小澤ルーム30」が設けられ、小澤氏の写真や愛用品などが展示されています。小澤氏への永世名誉町民称号の贈呈は、すべての町民に音楽のすばらしさを身近に感じられる活動を通じて、感動と潤いを与え、音楽文化の発展、文化の誇り高い人づくりの礎を築かれた功績が顕著であり、後世にわたり顕彰するものです。

現に寄与することを目的としています。
犯罪被害者等の経済的負担を軽減するために支援金の給付も行います。

志賀高原自然保護
センター条例

県から無償譲渡を受け
自然公園施設として設置

これまで県の施設として町に管理委託されてきた長野県志賀高原自然保護センター(志賀高原総合会館98内)が、県から無償譲渡されることとなり、設置等について必要な事項を定めるものです。

第1回定例会

条例の一部改正

国民健康保険税 条例

資産割廃止 保険税
14・88%引き下げ

令和6年度の国民健康保険税を、基金（4年度末残高で約2億6000万円）の活用で平均14・88%引き下げるものです。9年度県課税一本化に向けて、資産割課税を廃止し、4方式から3方式に移行します。

国民健康保険税の引き下げは、令和2年度に平均10・7%引き下げられて以来のことです。

介護保険条例

第9期介護保険料
1.9%値上げ

介護保険第9期（令和6年度）の第1号被保険者（65歳以上）の介護保険料を改定するものです。所得段階は第8期の10段階から13段階に細分化され、基準となる第5段階では、月額5400円から1000円（19%）の値上げで5500円となります。

公開します 審議議案と議員の賛否 令和6年第1回定例会

上程議案	賛成：○ 反対：● 欠席：欠	結果	小田 孝志	畔上 恵子	小林 仁	志鷹 慎吾	塚田 一男	湯本 孝子	徳竹 栄子	高田 佳久	渡辺 正男	山本 光俊	小林 克彦	白鳥 金次	湯本 晴彦
永世名誉町民の称号の贈呈について		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会委員会条例の一部改正（簡易採決）		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度 一般会計補正予算（第7号）		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度 後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度 介護保険特別会計補正予算（第4号）		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度 公共下水道事業会計補正予算（第2号）		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度 水道事業会計補正予算（第3号）		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員定数条例の一部改正		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の育児休業等に関する条例の一部改正		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部改正		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町総合計画審議会条例の一部改正する条例の制定		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部改正		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長野県志賀高原自然保護センター条例の制定		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町営水道条例の一部改正		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消防団員等公務災害補償条例の一部改正		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険条例の一部改正		賛多	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
犯罪被害者等支援条例の制定		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度 一般会計予算		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度 国民健康保険特別会計予算		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度 後期高齢者医療保険特別会計予算		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度 介護保険特別会計予算		賛多	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度 公共下水道事業会計予算		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度 農業集落排水事業会計予算		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度 水道事業会計予算		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度 一般会計補正予算（第8号）		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営、指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法等の基準に関する条例の一部改正		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定居宅介護支援等の事業の従業者及び運営の基準に関する条例の一部改正		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の候補者の推薦について		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任について①		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任について②		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業委員会委員の任命について		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命について		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
選挙管理委員及び同補充員の選挙について（簡易採決）		全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ズバリここが知りたい

論戦

防災・減災対策、小学校1校統合、地域公共交通、带状疱疹ワクチン接種助成、インバウンドの対応、令和6年度予算について、公共施設の整備、野生鳥獣被害防止対策、実質ゼロカーボン宣言の実行策、旧泉保育園舎、危機的な人口減少、農業経営基盤強化促進の「地域計画」策定について、など

2月29日、3月1日の2日間にわたり行われ、登壇議員は6人、傍聴者は延べ40人でした。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者1人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね1時間）。

①	 渡辺 正男	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の整備にどう取り組むか ・地域公共交通の充実にどう取り組むか ・農業経営基盤強化促進の「地域計画」策定にどう取り組むか
②	 畔上 恵子	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災対策について ・带状疱疹ワクチン接種助成について
③	 湯本るり子	<ul style="list-style-type: none"> ・補聴器助成について ・保健センターについて ・小学校統廃合について ・旧泉保育園舎について ・教育委員会事務室について
④	 白鳥 金次	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度予算について ・インバウンドの対応について ・野生鳥獣被害防止対策について ・学校教育について ・地域公共交通について ・職員採用について
⑤	 塚田 一男	<ul style="list-style-type: none"> ・災害への備えについて ・断水とその対応について ・地域公共交通について
⑥	 小林 克彦	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1校統合について ・危機的な人口減少について ・実質ゼロカーボン宣言の実行策について

公共施設の耐震化の現状と課題は

町長 個別施設計画に基づき取り組んでいる

学校施設の耐震化は

教育長

中学校は、平成30年度から令和元年度にかけて、長寿命化に合わせて耐震工事を実施している。東小学校が昭和56年度、西小学校が昭和60年度、南小学校が平成元年度、給食センターが昭和57年度の竣工でいずれも新耐震基準を満たしている。しかし、老朽化で長寿命化などの大規模改修を計画的にすすめる必要がある。児童数の減少が見込まれる中、小学校の統合も踏まえながら、最適な教育環境の維持が必要と考えている。

中学敷地内は整備済み 統合小建設には不向き

質問

個別施設計画の学校関連では、避難所としての機能も含め、向こう20年で



わたなべ まさお
渡辺 正男

計画改修に10億から20億円で維持していけると思う。中学校は長寿命化済み、給食センターもこの先10年以上改修予定なしで整備済みとなっている。こうした現状で3小学校を廃止して、整備済みの中学校敷地内に借金も残る給食センターをつぶしてまで新設小学校を建てるというのは、狭いだけなく、財政的にも無理



中学校管理棟の長寿命化工事（令和元年6月）

のある計画と思うが。

町長

中学校にプールと給食センターをつぶして小学校を狭いところに押し込むという計画について、私は選挙のときから立ち止まっで見直すという宣言をしている。もともとかなり無理のある計画だったと思っている。今回、概算見積りで50億円以上というものを、将来にわたる負債として持ち込むのもどうかと、それを子どもたちの世代へつけない回すのも私としてはしたくないという思いで、私案としての意見を持っている。耐震化工事が終わっているものであれば、なるべく長く使っていくことが環境にも配慮した町政運営かと思っている。

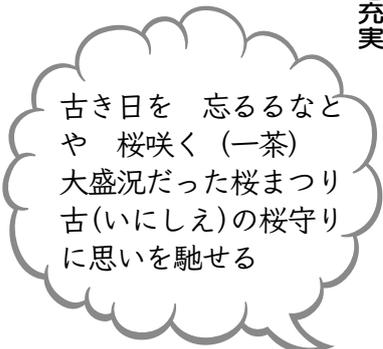
質問

今ある小学校を必要

させ、本当に必要な時期が来たら、統合であれば統合小・中一貫、あるいは義務教育学校、そういったことを検討するべきと思う。

教育長

これまで保護者、各地域の住民、現場の先生方と十分協議をしながら、できるだけ現場の思い、願いに沿った統合計画ということで、中学校敷地への併設ということを中心にする。決めてきた経緯がある。今回町長が、よりソフト、人材に手厚く財源を割くという方針を出していただいたことは、理解できるが、現場の意見としては、中学校敷地への併設が教育上もベターとの考え方で、これまで議論がすすんできたということをご理解いただきたい。



古き日を 忘るるなど
や 桜咲く（一茶）
大盛況だった桜まつり
古（いにしえ）の桜守り
に思いを馳せる

渡辺正男のつぶやき

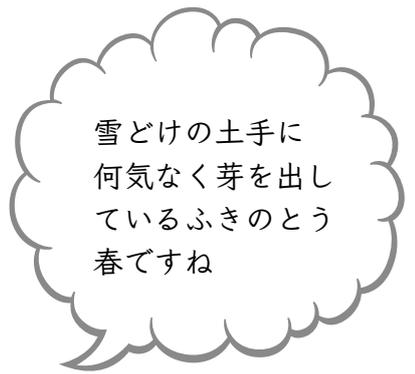
防災・減災に対する施策は

町長 防災訓練・地区防災計画・住民への啓発は重要な課題



あぜがみ けいこ
畔上 恵子

- ※1 アルファ米：炊飯または蒸^し煮した米を、急速乾燥処理によって状態を固定させた乾燥米飯のこと。
- ※2 フードバンク：包装の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で流通することができない食品を、企業などから寄贈していただき、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動のこと。
- ※3 防災士：特定非営利活動法人日本防災士機構が認定する民間資格で、社会の様々な場で、減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、そのために十分な意識・知識・技能を有する者として認められた人のこと。



畔上恵子のつぶやき

各種防災訓練の実態は

危機管理課長 コロナの影響で本年度は、4年ぶりに山ノ内町総合防災訓練として実践的な訓練をした。「地域の命は地域で守る」をテーマに、実際に町災害本部を立ち上げ、中学校・地域福祉センターを避難所として開設。本番さながらの訓練を行った。高齢者等避難指示の発令基準、避難場所の開設や方法などについて反省点もあり改善を検討している。

質問 夜間の訓練を今後実施する計画は。



町防災訓練の様子（令和5年9月2日・山ノ内中学校体育館）

危機管理課長 過去に1年度訓練したことがある。今のところ考えていないが今後

の訓練の中で検討していく。

質問 地区防災計画の進捗状況は。

危機管理課長 現在策定中の地区は数件あるが、策定に至った地区はない。本年度、町で避難行動要支援者の個別避難計画の策定にもなう協力や、避難情報の発令基準の見直しなど、地区防災計画に盛り込んでいただきたい情報を整備している。この情報をもとに自主防災組織と協力し、地区防災計画の策定支援をすめていく。

質問 災害時備蓄食品の有効活用は。

危機管理課長 本年度、新たに各自主防災組織に避難

所開設に必要な備蓄食料の配布を行い、各地区の防災倉庫にアルファ米、白米、ワカメご飯やクラッカー、パンなど、2000食超の食料を備蓄している。賞味期限を迎える食品は、町防災訓練で配布している。配布し切れなかった分については、町社会福祉協議会を通じて、フードバンク等^{※2}で利用されている。

質問 住民への意識啓発の工夫は。

危機管理課長 令和2年度に全戸へ防災マップを配布している。広報誌にて、防災に関する基礎知識や最新情報を掲載し総合防災訓練「アラートの訓練放送など」も行っている。

質問 防災士資格取得への町としての取り組みは。

危機管理課長 各自主防災組織へも、令和元年度より補助金交付要綱で3万円の補助対象としている。町職員で2人取得しているが、今後周知や利用促進をはかっている。

带状疱疹ワクチン接種助成は

質問 県の取り組み状況と動向は。

健康福祉課長 県が2分の1の補助を行った場合、時期は未定だが利用したい。その後、県に問い合わせをしたところ、令和6年度は予算措置については保留と現状、任意接種だが定期接種化の方向へすすむよう国の方へ働きかけていくとの県の回答。

旧泉保育園舎は破損箇所が目立つが

町長 取り壊し予定を先送りし 検討中

旧泉保育園の 跡地利用は

質問 公共施設等総合管理計画では令和6年度取り壊し予定となっているが。

健康福祉課長 跡地利用が決まらないと過疎債が借りられないため、令和8年度に先送りさせていただいた。

質問 源湯もあるあの場所に、風呂つきの公営住宅とか跡地利用の考えは。

総務課長 考えたことはない。今後、利用価値があるかどうかも含め検討したい。

質問 保健センターにエレベーターがなく、高齢者・歩行困難者には使いにくいとの声がある。改善は。

健康福祉課長 2階を使用する事業は、現状ほとんどない。今後も改修の予定はなく、歩行困難な方が利用



ゆもと りこ
湯本るり子



使われなくなって破損箇所が目立つ旧泉保育園

する場合は1階で行うよう工夫していく。

質問 教育委員会事務局は、入りにくいという声があり、機構改革にあわせて改善は。

町長 4月から教育委員会に設置することも未来課「

は、2階のフロアに移る。スペースが広くなり、改善がはかれると思う。

補聴器購入の助成を

健康福祉課長 身体障害者への補装具としての助成は

あるが、高齢者への助成はないので、検討は必要。

は検討されたのか。
教育長 2校案も含め様々な意見をいただき、検討してきた。

健康福祉課長 金額に上限はあるものの、県内では13市町村が実施している。町も研究・検討をしたい。

質問 複数案の比較検討はされたのか。
教育長 中学校敷地への併設案に加えて、西小を活用することを想定した統合プランも作成し、検討した。

小学校の統廃合は

質問 現在の進捗状況、どんな検討をされているのか。
町長 中学校敷地では、狭小校舎の可能性が高いため、西小への統合など複数案で検討してきた。新校舎建築には概算50億円。現在の町財政では現実的でない。教育内容の充実・魅力ある学校をつくることは必要不可欠だが、整備計画方針を8

質問 通学距離、児童数で考えると西小・南小の2校使用が最適と思うが。
教育長 検討したが、1校統合がベストという結論。

ードからソフトへ変更する方向で教育委員会と議論している。

質問 要望があった2校案
教育長 3月下旬までに総合教育会議を開き、公開の場で町長と教育委員による統合方針に向けて協議し、教育委員会臨時会で統合案とすすめ方を決定したい。

ている。

である。

将来 宇宙飛行士になりたい・アイドルになりたい・警察官になりたい などなど、元気に発表する卒園児たち。4月にはピカピカの1年生です。

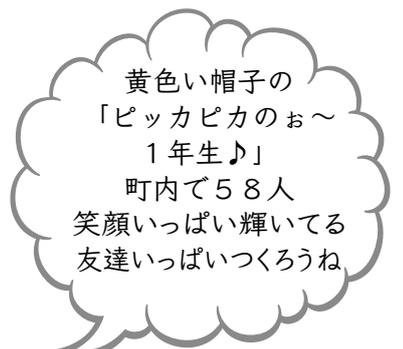
湯本るり子のつぶやき

急増するインバウンドの対応は



しろとり きんじ
白鳥 金次

※ 特定地域づくり事業協同組合制度：都会から移住してきた若者らを人手不足の産業へ派遣する、安定した収入と社会保険も保証し、着実に移住者の定住につなげる狙いで打ち出している制度。



白鳥金次のつぶやき

町長 受入体制整備に引き続き力を入れていきたい

町長 地獄谷野猿公苑には、昨年10月以降、国内観光客を上回る外国人観光客が来園している。このような状況から、冬期シーズン前に野猿公苑の発着地点でもある志賀高原ロマン美術館周辺に、仮設トイレと仮設待合室の設置、美術館内にインフォメーションスタッフの配置をしているが、急増する外国人観光客への様々な課題に追いついていない面がある。湯田中駅周辺においても電車、バス、タクシーなどのアクセス情報や飲食店を探す状況が見受けられる。このような状況から、これからもすすむ外国

人観光客へ顧客満足度の向上のための受入環境整備を

急ぐ中で、観光庁の補助事業を検討し、志賀高原ロマン

美術館、湯田中駅周辺に交通情報、町内観光地を紹介できる設備などの対策を考えている。

ン美術館、湯田中駅周辺に交通情報、町内観光地を紹介できる設備などの対策を考えている。

地域公共交通 路線バスの状況は

町長 1月21日から長野市内の路線バスについて、運転手不足の理由で、当面の間、日曜日を運休するという長電バスの発表があった。町内の路線バスに関しては、長電バスが運行する菅線、上林線、奥志賀高原線、白根火山線がある。運転手不足は、当町の地域公共交通確保に大きな影響を与えている。現行路線の動向を見

守りながら、持続可能な地域交通の確保を最重要課題として、路線バスの維持確保、楽ちんバスの拡充をすすめていきたい。

質問 バスの運転手不足により路線バスの撤退も視野にあることや、シャトルバス運行への影響が懸念される。町の産業を担う様々な業種においても人手不足問題がある。町としては難しいが、解決策への考えは。

観光商工課長 求人求職マッチングシステム構築事業として、新年度予算に900万円を計上している。近隣市町村も含めた住民また

質問 議員が考える解決方法が何かあったら、逆にご教授いただきたい。

反問回答 総務省で、特定地域づくり事業協同組合制度がある。県内では生坂村と小谷村の組合が総務省から認定されている。組合に市町村が財政支援を行う場合に、国の財政支援を受けることができる。当町でも研究していくことを提案したい。



志賀高原ロマン美術館横の仮設トイレ

市町村も含めた住民また

研究していくことを提案したい。

災害時 孤立、外国人対応への備えは

町長 連絡網やマニュアルを検討したい

災害用備蓄用品は

質問 備蓄品目とその数量は。

危機管理課長 災害に必要な物品として、食料、飲料

水をはじめ、避難所で使用するパーテーションや毛布などの寝具、おむつなどの衛生用品、断水時対応の簡易トイレなどを各学校および公民館の防災倉庫で保管している。

なお、計画では食料および飲料水は、住民自ら約3日分の備蓄協力を前提としている。人口の5%、570人の2食分で1140食分となる。

質問 補正人口（観光客）

対応の備蓄は。

危機管理課長 補正人口分ということではないが、当町は観光の町であり、観光

客も被災し得ることから、実備蓄量は、余裕を持たせるため、3食分をめぐに備蓄。

質問 当町は寒冷地である。

冬期の災害発生時の低体温

症防止から、石油ストーブ、アルミブランケット、カイロなどの備蓄見直し検討は。

危機管理課長 防寒対策面の備蓄数は若干で、全員に

対応できるものはなく、対



災害用備蓄倉庫（よませふれあいセンター敷地内）

策としては不十分な状況ではある。このため、避難所の体育館への対応について、暖房機器等の配備補助を検討したい。

避難所のスフィア基準は

危機管理課長

難民キャンプ等の関係で、国際赤十字などで避難所環境の最低基準を定めたものが、それと認識している。

質問 この基準は、国際赤十字などが1998年にまとめた避難所の国際基準で、

欧米では、女性用トイレは男性トイレの3倍としっかり規定している。この検討は。

危機管理課長 携帯トイレ

の備蓄はあるが、基準に基づき検討はしていない。女性用を増やすなど、検討を

すすめたい。

質問 避難所における災害

関連死および感染症防止のため、TKB環境向上対策は。

危機管理課長 避難所環境

対策は重要課題であり、この観点で見直しをしている。高齢者避難の際、空調完備場所の有効活用など、自主防災組織の協力のもと、検討したい。

自主防災組織と訓練は

質問 自主防災組織対象の研修会実施および防災訓練のあり方の検討は。

危機管理課長 自主防災組

織や区長会で意見を伺い、リーダー研修を検討したい。また、防災訓練は各地区単位での避難訓練を6年度に実施したい。



つかだ かずお
塚田 一男

※1 スフィア基準：災害や紛争の被災者に対する人道支援活動のために策定された「人道憲章と人道対応に関する国際的な最低基準」の通称。

※2 TKB：災害関連死防止のため、避難所環境向上の柱として、衛生的なトイレ（T）暖かい食事提供のキッチン（K）ぐっすり眠れるベッド（B）の整備。

能登半島地震から約4か月になるが被災地の厳しい避難生活に胸が痛む災害への備えを

塚田一男のつぶやき

なぜ1校統合議論に1年間もかかっているのか

町長 選挙で選ばれたからには 公約どおり見直しが責務



こばやし かつひこ
小林 克彦

質問 町長の魅力ある学校の内容や合意期限は幾度か変更しているが、特に「中学校敷地内は狭く、認められない」との考えに変わりがなければ、現計画は町民合意であるから教育委員会として変更もできず進展は望めなかったのではないか。

町長 町長の魅力ある学校の内容や合意期限は幾度か変更しているが、特に「中学校敷地内は狭く、認められない」との考えに変わりがなければ、現計画は町民合意であるから教育委員会として変更もできず進展は望めなかったのではないか。

質問 町長と教育委員会の法的な業務範囲はどうか。

町長 教育委員会は学校の方向性や実務、町長は予算執行の判断をすると認識している。

教育長 中学校敷地への併設で複数案を提示し理解を得るべく努力してきた。

質問 提案のやり取りをしてきたというが、町長からの提案は何か。

町長 選挙の立候補の際、中学校敷地は狭い、プール

町長 私のリンクエストは伝えて議論していたと思う。

教育長 具体的には教育による移住を推進する。少子化対策、人口増に貢献できる学校教育の魅力化だった

町長 今日の日付に、町長の発言として「ハードに大きな金額はかけられない。既存校の西小学校でどうかと提案した」とある。しかし、金額の話が出てきたのは最近のことであり、公約で白紙委任されたと考えているのか。

町長 それは議論のすり替え。狭いといつて拒否したものを、いくら工夫しても、1㎡も広からず魅力の解決にならない。

町長 その考えのもとに議論を1年間すすめてきたか。

町長 50億円かけても、それだけの魅力と効果が見込めるものであればいいと教育委員会には伝えてある。

町長 財源に限りがあるので、優先順序による。それ以上に自身の議論が必要。

町長 具体的なハードのことは、体育館やプールは公共のものを使うのではなかったのか。

町長 さきほど、現計画にはソフトの視点が欠落しているがごとの発言があった。それはハードに集中してきた議論によるもの。私も経験しているが小学生と中学生が隣同士で学ぶ、これは最高のソフトだ。建物も見かけでなく、冷暖房、副担任や専科教員など環境整備は十分考えている。

町長 小中連携校を否定はしていない。自身の魅力ある議論があるかないかだ。

町長 50億円かけても、それだけの魅力と効果が見込めるものであればいいと教育委員会には伝えてある。

町長 さきほど、現計画にはソフトの視点が欠落しているがごとの発言があった。それはハードに集中してきた議論によるもの。私も経験しているが小学生と中学生が隣同士で学ぶ、これは最高のソフトだ。建物も見かけでなく、冷暖房、副担任や専科教員など環境整備は十分考えている。

町長 小中連携校を否定はしていない。自身の魅力ある議論があるかないかだ。



ここに小中併設が現実的



小林克彦のつぶやき

皆さんからの陳情

受理番号	件名	陳情者	採決結果
陳情第7号	年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情	小坪 慎也	文書配付対応

議会側からの発委

	件名	提出者	採決結果
発委第1号	議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	議会運営委員会	可決 全会一致

議会全員協議会

第1回（1月11日）

(1)執行機関側からの提出案件

- ①低所得者支援及び定額減税補足給付金について

(2)議会側からの提出案件

- ①議員の辞職による委員会構成などの変更について
 - ア 議席及び議席番号について
 - イ 常任委員会の組織について
- ②第17回議会報告会について

第2回（2月8日）

(1)議員研修（国民健康保険制度について）

(2)執行機関側からの提出案件

- ①令和6年度以降の国民健康保険税のあり方について

(3)議会側からの提出案件

- ①議会委員会条例の改正について
- ②議会先例集の改正について

第3回（2月27日）

(1)執行機関側からの提出案件

- ①高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画について
- ②介護保険制度改正に伴う条例の一部改正について
- ③長野県志賀高原自然保護センターの移譲について
- ④やまのうちスポーツクラブの設立について
- ⑤学校給食費の改定について
- ⑥小学校統合問題について

第4回（3月1日）

(1)執行機関側からの提出案件

- ①地球温暖化対策実行計画（事務事業編）について
- ②いきいき健康増進プランやまのうち（健康増進計画「令和6年度～令和17年度」）について
- ③国民健康保険・第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）・第4期特定健康診査等実施計画について
- ④障害者総合計画（第5期障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画）について
- ⑤美唄市（北海道）とのパートナーシップ協定締結について
- ⑥フランス サン・ジェルベ・レ・バン市との交流について

(2)議会側からの提出案件

- ①議会報告会について
- ②小学校統合問題について

第5回（3月19日）

(1)執行機関側からの提出案件

- ①町の財務書類（令和4年度決算）について
- ②フランス サン・ジェルベ・レ・バン市との交流について

(2)議会側からの提出案件

- ①北信広域連合基本計画審議会委員の推薦について
- ②小学校統合問題に係る新聞報道等における町長への申し入れについて

まちづくり観光局スタートの年

子育て・教育支援充実

令和6年度一般会計予算
76億8300万円を全会一致で可決

予算審査は3月1日予算決算審査委員会（委員長Ⅱ白鳥金次、副委員長Ⅱ湯本るり子）に付託。5日から4日間審査を行いました。

一般会計、国民健康保険特別会計は全会一致で可決しました。介護保険特別会計は賛成多数（反対2）で可決。そのほかの特別会計と公共下水道事業会計、農業集落排水事業会計、水道事業会計は全会一致で可決しました。



改修工事の行われた湯の湯

部会意見 一般会計

《共通》

○DX推進事業は、住民の利便性向上をはかることにも、業務効率化につとめること。

《総務費》

○デマンド交通は、実証運行結果に配慮して本格運行を実施すること。

《危機管理費》

○地区防災計画は、全地区で策定されるよう支援につとめること。

○冬期間における防災訓練の実施を検討すること。

《民生費》

○子ども家庭センターの設置は、利用者ニーズに配慮した検討をすること。

○子ども・子育て支援事業計画の策定は、住民の利用希望の把握につとめ、具体的な達成目標を設定すること。

《衛生費》

○予防（任意）接種事業にあたっては、補助拡充を検討すること。

《農林水産業費》

○「地域計画」の策定には

万全を期すこと。
○いのちを守る森づくり事業は、内容を精査し、継続すること。

《商工費》

○第4次観光交流ビジョン策定は、新しい時代を見すえて積極的に取り組むこと。

○求人・求職マッチングシステム構築事業は、効果があがるようにつとめること。

《土木費》

○危険な空家の解消とともに、増やさない対策につとめること。

《消防費》

意見なし

《教育費》

○小学校統合は子どもたちの教育環境が、より良いものとなるようにつとめること。

○部活動の地域移行は状況の把握につとめ、広域連携を視野に入れて検討すること。

○総合型地域スポーツクラブは、拠点となる体育施設の検討をおこなうこと。

○給食費の公会計化および無償化の検討をおこなうこと。

○水道事業会計予算



志賀高原自然保護センター

特別会計等

国民健康保険特別会計予算
○保険者努力支援制度は、評価があがるよう努力すること。

介護保険特別会計予算

○保険者機能強化推進交付金・保険者努力支援交付金に係る評価指標の総合得点が向上するようつとめること。

水道事業会計予算

○水源および施設の維持・管理は、災害への備えを含め、計画的に取り組むこと。

総括意見

予算決算審査委員会

委員長

白鳥

金次

我が国経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつある。30年ぶりとなる高水準の賃上げや、企業の高い投資意欲など、経済の先行きには前向きな動きが見られており、デフレから脱却できる千載一遇のチャンスを迎えているなかで、地方経済は依然として、都市部とのギャップは否めない。

このような状況下で編成された6年度一般会計予算の総額は76億8300万円、前年度予算に比べ4億7525万円(66%)の増となっているが、前年度当初予算は骨格予算として編成されていたため、政策的経費を肉づけした昨年の6月議会補正予算後の予算額と比較して1億8774万円(25%)の増となり、8年連続で70億円を超える予算となった。

(1) 歳入について

歳入の柱である町税収入(歳入に占める構成比21.9%)は、前年度比43009万円(26%)増の16億8317万円となっている。税収確保と税の公平性維持の観点からも、収納には最大限の努力を払いたい。歳入のもう一つの柱である地方交付税

(2) 歳出について

歳出では14項目の新規事業と14項目の拡充事業が計上されている。産業分野では4項目の新規事業と5項目の拡充事業を計上し、基幹産業の一つ観光に係る商工費では、山ノ内まちづくり観光局への活動支援補助金および事業負担金を新規計上。観光局が地域のさまざまな素材を「観光」というツールで結びつけ、さまざまな関係者の意見

(構成比35.5%)は、前年度比20000万円(0.7%)増の27億2000万円を見込んでいる。寄附金(構成比5.9%)は、前年度比7925万円(21.1%)増の4億5466万円を見込み、ふるさと寄附金については前年度比6000万円増の3億8000万円を計上。繰入金(構成比12.0%)は、前年度比3億4790万円(60.6%)増の9億2156万円を財源補てんとして計上。財政調整基金は5億8517万円、ふるさと基金は2億539万円の基金取り崩しを見込んでいる。町債(構成比4.8%)は、前年度比2070万円(5.9%)増の3億7070万円を計上している。

を調整し、地域の活性化へとつなげる重要な「牽引役」になることを期待する。もう一方の基幹産業である農業に係る農林水産業費では産地パワーアップ事業、がんばる農業就農奨励金、農業経営雇用促進事業、収入保険掛金補助事業のほか、スマート農業機械導入支援事業が計上されている。5年度においては、農業と町の特性に魅力を感じて、19名が新規に就農された。担い手の確保と育成にさらなる取り組みを望む。健康・医療・福祉分野では、3項目の新規事業、拡充3事業が計上されている。新規に子育て家庭の負担を軽減する取り組みとして、ファミリーサポート・センター事業の計上。保育園児保護者の負担軽減のためのおむつ廃棄用ごみ箱購入費が計上されている。また、公的病院(北信総合病院)財政支援金が拡充された。地域医療の確保と観光客の安全・安心を守るためにも、引き続き支援が望まれる。教育・文化分野では新規3事業、拡充3事業が計上されており、新規の海外留学支援事業は児童生徒が海外の文化・スポーツなど見聞を広げる海外留学への補助金であり、

(3) まとめ

子どもたちの挑戦に期待したい。また、拡充の小中学校の教員加配事業では子どもへの寄り添いと居場所の充実を望みたい。国際理解教育推進事業は「国際理解教育」の理念、「世界の人々が国を越えて理解し合い協力し、世界平和を実現すること」を目指している。学校給食費は、子育て世帯に対する経済的支援から給食費の半額を補助計上している。都市基盤・生活環境分野では「ゼロカーボンシティ宣言」を踏まえ、電気自動車急速充電設備設置事業、地球温暖化対策実行計画策定費用が計上されているが、2030年はすぐそこまできている。さらなる施策の実行が急務である。湯ノ原町営住宅の長寿命化型改善事業が12年計画の最終年度となるが、町内の賃貸住宅は依然として慢性的に不足状態にある。移住・定住施策として、賃貸住宅建設事業の構築を期待したい。

一般会計予算 賛成討論

福祉医療のことも医療費窓口完全無料化は、私も提言してきたものであり、歓迎する。今後、障がい者やひとり親医療にも拡大を期待する。学校給食費半額負担化のための補助金2138万円も評価する。町長公約である完全無料化に向けて、今後いっそうの努力を期待する。小中学校教員加配事業、国際理解教育推進事業の大幅増額も、町独自の教育支援策としてその成果に期待する。

国民健康保険 特別会計予算 賛成討論

これまで、何年か反対してきたが、今回は、思い切った保険税負担軽減を評価し、賛成したい。懸案だった資産割の廃止で4方式から3方式に

業執行を願うとともに、その成果を大いに期待する。厳しい財政状況を乗り越えるためには、徹底した行財政改革は避けて通れない道である。過去を踏襲するのではなく、あらゆる見地から聖域なき見直

一般会計予算 賛成討論

移行。2億6000万円に上る基金の活用で平均14.88%の値下げとなった。これまでに、県納付金を2%増して計算することをやめ、予定収納率を3か年収納実績平均から国推奨の97%に改めるなど、改善がはかられてきた。この点も率直に評価したい。

介護保険 特別会計予算 反対討論

介護保険料は、所得段階が10段階から13段階に細分化され、基準となる第5段階では、月額5400円から100円、1.9%の値上げとなった。低所得段階では負担が軽減されるものの、平均では値上げに変わりない。第8期でも保険給付費を過大に見込み、多額の実質余剰金を残してきた過去を真摯に分析・反省するならば、第9期の介護保険料は値上げどころか思い切った値下げができたはず。

国民健康保険 特別会計予算 賛成討論

これまで、何年か反対してきたが、今回は、思い切った保険税負担軽減を評価し、賛成したい。懸案だった資産割の廃止で4方式から3方式に

一般会計予算 賛成討論

福祉医療のことも医療費窓口完全無料化は、私も提言してきたものであり、歓迎する。今後、障がい者やひとり親医療にも拡大を期待する。学校給食費半額負担化のための補助金2138万円も評価する。町長公約である完全無料化に向けて、今後いっそうの努力を期待する。小中学校教員加配事業、国際理解教育推進事業の大幅増額も、町独自の教育支援策としてその成果に期待する。

国民健康保険 特別会計予算 賛成討論

これまで、何年か反対してきたが、今回は、思い切った保険税負担軽減を評価し、賛成したい。懸案だった資産割の廃止で4方式から3方式に

一般会計予算 賛成討論

福祉医療のことも医療費窓口完全無料化は、私も提言してきたものであり、歓迎する。今後、障がい者やひとり親医療にも拡大を期待する。学校給食費半額負担化のための補助金2138万円も評価する。町長公約である完全無料化に向けて、今後いっそうの努力を期待する。小中学校教員加配事業、国際理解教育推進事業の大幅増額も、町独自の教育支援策としてその成果に期待する。

ふるさと寄附金は経費面の検証を含め、目標を達成するために効果的な事業推進をはかること。

令和5年10月の制度改正により、経費の割合が5割を超える恐れが生じたことから、やむなく3月から一部の返礼品について寄附金額の値上げを実施しました。

令和5年度においては、10月に現地決済型のふるさと納税（山ノ内町旅先納税「山ノ環（ヤマノギフト）」）を導入し、スキーシーズン開始とともに利用実績を伸ばしております。



街なみ環境整備事業は検討組織を設置し万全を期すこと。

街なみ環境事業は渋・金倉地区の関係者を中心としたワークショップを3回開催し、街歩きを通じて地域の課題の洗い出しや事業の活用方法について協議しました。また、住民アンケートによる費用便益調査を実施し、その結果をもって事業採択が受けられるか協議中です。

住宅用火災警報器購入補助金は補助要綱を見直し、設置率向上につとめること。

補助金について、各種訓練講習会、区長会や広報やまのうち等で継続して住民への周知をしていることから問い合わせ数が増えている。今後交付件数も増加するものと見込んでいる。

消防職員の住宅用火災警報器の設置指導に合わせ、対象となる一人暮らし高齢者等に直接補助金について周知を行っている。設置作業が困難な高齢者も多いことから、令和5年度から要望があれば設置作業を消防職員が支援するという取り組みも行っている。

住宅防火診断に同行いただいている民生児童委員や、町内の訪問介護事業者等にも協力を依頼し、補助金を活用しやすくするとともに住宅用火災警報器の設置率向上につとめている。



総合型地域スポーツクラブ設立は、各競技団体の意見を反映させてすすめること。

令和6年度町総合型地域スポーツクラブ設立（設立総会：令和6年3月16日）にあたり、令和4年度に設立準備委員会を立ち上げ、これまで毎月1回、準備委員会を開催しています。各競技団体との意見集約、情報交換や要望把握のため、体育協会・スポーツ推進委員会・スポーツ少年団・中学校校長等、ほか県教育委員会3名の方にオブザーバーとして出席いただいています。



「スポーツを通じて人づくり・まちづくり」に向けて、地域の誰でもが気軽に継続的にスポーツを楽しむことができる環境を提供し、スポーツを通じて、地域コミュニティの活性化、健康増進、明るく豊かな生活の実現に向け、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブを目指します。

ゼロカーボンシティの宣言に向け、検討すること。

令和5年9月7日議決をもって、2050年実質ゼロカーボンを目指す自治体の表明をさせていただきます。「美しい山ノ内町を未来の子どもたちに引き継ぐため、環境への負荷を軽減し、持続可能な社会を実現すること」をテーマとして、『山ノ内町ゼロカーボンシティ宣言』を公表しています。

令和5年11月28日には、新潟スバル自動車株式会社、スバル信州株式会社と『脱炭素社会の実現及びSDGsの達成に向けた包括連携協定』を締結しました。

今後、さらに包括連携協定などの手段を活用しながら、様々な業種と連携して目的達成に向けて取り組みます。

あの意見どうなった？

追跡

審査意見その後

これまで議会が付した審査意見に対し、町がどう取り組んできたのか、令和6年度予算審査にあり現況報告のあった主なものを紹介します。

第17回 議会報告会



結果報告会はこちら

4年ぶりの開催となり、5会場に179人が参加、300件を超える意見・要望がありました。

第17回議会報告会は、1月21日のすがかわふれあいセンターを皮切りに2月7日のよませふれあいセンターまで5会場で開催いたしました。昨年までの3年間は、コロナ禍で誌上での報告会としてきましたが、令和2年以来4年ぶりの現地開催となり、多くの方に参加していただき、多くのご意見・ご提言をいただきました。

議会としても真摯に受け止めて、誠意をもって応えていきたいと思えます。なお、今回出されたご意見、ご質問に関しては、後日報告書にて回答させていただきます。ご協力いただいた各地区の関係各位ならびに参加者の皆様に厚く御礼申し上げます。



東部下会場での班別意見交換会（文化センター 1月30日）

主な意見・要望

小学校統合	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度予算には基本設計が盛り込まれているようだが、その先が不明。子どもたちのために早く統合してほしい。 ・お金をかけて学校をつくる必要があるのか。既存校の活用策もあるのでは。 ・住民投票をおこなって方向性を決めるという方法もあるのでは。 ・魅力ある学校で人が来るのでなく働く場所、居住環境が充実していなければ来ないのではないか。
地域公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・湯田中や渋にも老人はたくさんいる。楽ちんバスやデマンド交通の導入を検討してほしい。 ・ライドシェアも検討してみてもは。 ・宇木区として、町と区で話し合い「ボランティア移送サービス」として昨年10月より実証実験をやっている。 ・楽ちんバスは空気を運んでいる感がある。将来的にはデマンド交通が必要になっていくと思う。 ・高齢者にとってはスマホの操作を含め難しいと感じる。町で相談対応できる窓口やスマホ教室などを取り組んでほしい。

開催日	1月21日(日)	1月26日(金)	1月27日(土)	1月30日(火)	2月7日(水)
地区	北部	東部上	南部	東部下	西部
開始時間	15:00	19:00	15:00	19:00	17:30
会場	すがかわふれあいセンター	和合会館	ほなみふれあいセンター	文化センター	よませふれあいセンター
参加者	20人	32人	48人	43人	36人

山ノ内町で栽培したぶどうでワイナリーを

インバウンドも含めた観光客受け入れの課題や、今後の展望を奥志賀リゾート社長の塚本健樹氏にお聞きしました。

自然を生かしたインバウンド戦略

Q.今シーズン始めの少雪は影響ありましたか。

A.例年の約10日遅れで、クリスマスには間に合いましたが、2年連続となり非常に影響は大きかったと思います。

Q.現在、奥志賀リゾートは100%天然雪と思いますが、自然の変化に対して今後対策は。

A.降雪機の導入を考えています。自然を壊さずに、たくさん地域の皆様の水源でもありますので、細心の注意と研究をせねばと考えています。



塚本 健樹氏

Q.雪不足は日本だけでなくヨーロッパも同様の問題だと思いますが、それによってインバウンドの動向に変化はありますか？

A.オーストラリアからのスキーヤーがほとんどでした。季節が逆転していることもあり、非常に効率よく誘客できる関係にあるのだと思います。

今シーズン、北米・ヨーロッパからのインバウンドも増えてきました。スクーターや文化としては本場ですがお客様が多くが志賀高原のパウダースノーをとて評価して下さっています。

それに加え、香港・台湾・タイ・マレーシアなどアジア圏からのインバウンドも増加傾向です。特に、タイやマレーシアのお客様は、スキーだけでなく、雪に触れ雪遊びがしたいという感覚。トップシーズンにスキーを楽しむオーストラリア・北米ヨーロッパの

インバウンドと、雪や雪山を体験したいというアジア圏のインバウンドで、訪れる時期も自ずと別れるため受け入れ側としては大変ありがたく、その上で最上級のホスピタリティを提供したいと思っています。

目指すホスピタリティ

Q. 今後はどのような展開をお考えですか。

A. 夏は避暑として利用していただいています。

お天気のいい日に身体を動かしたり、ペットと遊んだり芝生の上でお昼寝したり、そういったお客様のニーズだったと思いますが、ひとたび天候が悪くなると、お部屋にいる以外に選択肢がないのは冬も同様で課題です。今、山ノ内町でワインぶどうを栽培し、当方にワイナリーや蒸溜所を作る計画でいます。

この地の気候を活かし、山ノ内町で栽培したぶどうを使ったワインを作ってみたいと思います、既に取り組んでいます。



たくさんのお客様でにぎわう奥志賀高原スキー場

でいます。今後はそれらを併せたオーベルジュスタイルで楽しんでいただくようなイメージをしております。

Q. インバウンドは町を上げて取り組んでいます。大切なこと。戦略などございますか。

A. 以前、視察に行った国内のインバウンド先進地では、日本語対応スタッフを見つけてるのが大変でした。外国からお越しのお客様には対応できていないと思

いますが、やはり奥志賀高原も国内のお客様にこれまで支えてきていただいており、当然変わりなく愛されるおもてなしの精神を一番に、オリジナルな環境を作

り、志賀高原全体でお迎えられるように思っています。

Q. 最後に、今現在の課題としては、どの様なものがありますか。

A. これはもう、リフト。架け替えがゴンドラも含めてほぼ同時期です。

安全第一ですから、時期がきたら順次行わないといけない。かなり大きな架け替えになるので、町の力も借りながら、これから更なる飛躍に繋がるメンテナンスをしていきます。

編集後記

春の訪れを感じる4月となりました。皆さま、お元気で過ごしてください。

新たに学校生活を始めた人、社会人として働き始めた人、それぞれ思いを抱きながら新年度が始まりました。

山ノ内町においても、平澤町政となつて1年が過ぎ、4月1日からは庁舎内も新しい課が創設され雰囲気が変わりました。町民の皆さまには、ご不便をおかけする面もあろうかと思いますが、軌道に乗るまで心広く見守って頂きたいと思っています。

私ごとになりますが、議員になり「議会だより」の作成に携わるようになりました。文章を書くことはどちらかと言うと苦手です。しかし、実際携わってみると日本語の文章の難しさ、言葉ひとつに込められる想い、そして言葉の美しさをあらためて感じています。「議会だより」作成の中で学ぶことも多く大変な面もありますが、私たちの議会内容、活動など、皆さまにお届けできるよう、これからも紙面づくりに力を入れて参りますので、今後もよろしくお願ひ致します。

(畔上恵子)